

2022年度 日本工学院専門学校											
C G映像科											
デジタル演習 1 0											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	小川 泰			実務経験	有	職種	美術家				
担当教員紹介											
多方面のデザイン現場での活躍経験により、美術と歴史とメディアとの関連に高い専門力を持つ。美術的発想法の指導に加え、ワークショップ指導を得意とする。□ □ □ □											
授業概要											
株式会社Live2Dが開発した、「2D」イラストを「3D」のように動かすことを可能にしたモーションツール、Live2D Cubismの基本操作と基本概念を習得しLive2D Cubismを使用した作品制作を行う。											
到達目標											
基礎的なLive2D Cubismの操作方法を中心に学習する。 原画であるイラストをPhotoshopを使用しLive2D用に素材を分けし、Live2D Cubismを使用したモデリング制作を行いモデルを使用したアニメーションを作成するスキルを習得する。											
授業方法											
Live2Dの操作方法を解説し、その実践を行う。 原画であるイラストをPhotoshopを使用しLive2D用に素材を分けし、Live2D Cubismを使用したモデリング制作を行い、モデルを使用した作品制作を行う											
成績評価方法											
試験・課題 平常点	80％ 20％	理解度確認のために課題制作を行う 積極的な授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、課題の達成率を重視する。 課題の提出や期限を守らない場合は減点、不合格の対象となる。 授業時間外での制作も必要となるので注意すること。 授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない(不合格とする)。											
教科書教材											
課題毎に資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	「待機モーション作成1」 モデルの基本状態である待機モーションについて理解し、その制作を行う										
第2回	「待機モーション作成2」 モデルの基本状態である待機モーションについて理解し、その制作を行う										
第3回	「ワンショットモーション作成1」 待機モーションから派生するアクションを制作する										
第4回	「ワンショットモーション作成2」 待機モーションから派生するアクションを制作する										
第5回	「live2d awardの受賞作鑑賞」 過去の受賞作を鑑賞し、傾向と対策を考える										

2022年度 日本工学院専門学校	
C G映像科	
デジタル演習 1 0	
第6回	「作品制作1」 live2d awardへ出品するための企画書を作成する
第7回	「作品制作2」 企画書を基にラフを制作する
第8回	「作品制作3」 live2d awardへ出品するための作品制作を行う
第9回	「作品制作4」 live2d awardへ出品するための作品制作を行う
第10回	「作品制作5」 経過発表をし、スケジュールの確認をする
第11回	「作品制作6」 live2d awardへ出品するための作品制作を行う
第12回	「作品制作7」 live2d awardへ出品するための作品制作を行う
第13回	「作品制作8」 live2d awardへ出品するための作品制作を行う
第14回	「作品制作9」 live2d awardへ出品するための作品制作を行う
第15回	「作品制作10」 クラス内発表を行い最終調整をし、作品を完成させる